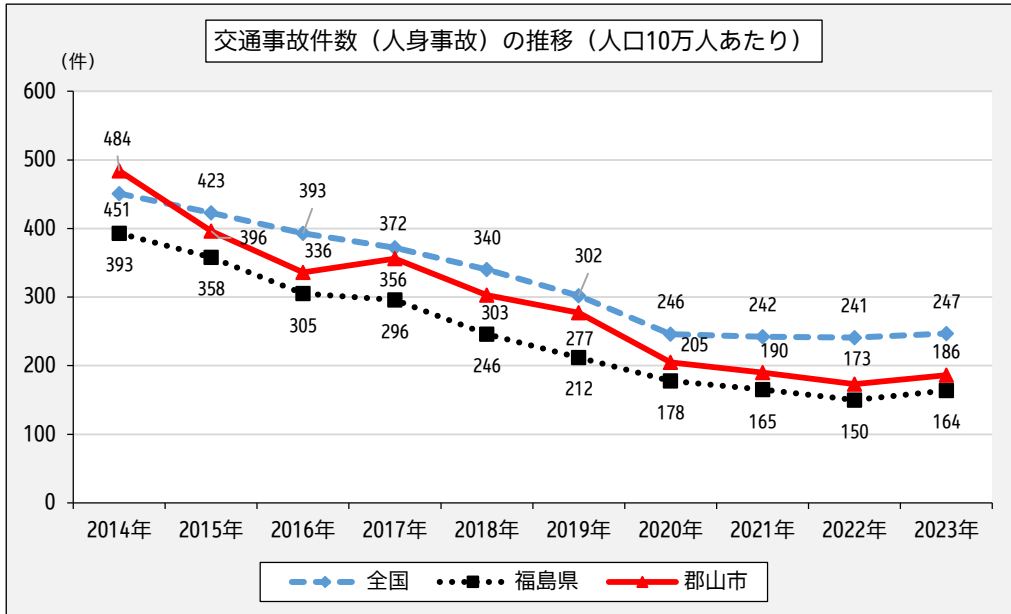


## 分野1 交通安全

### (1) 交通事故の発生状況推移（人口10万人あたり）

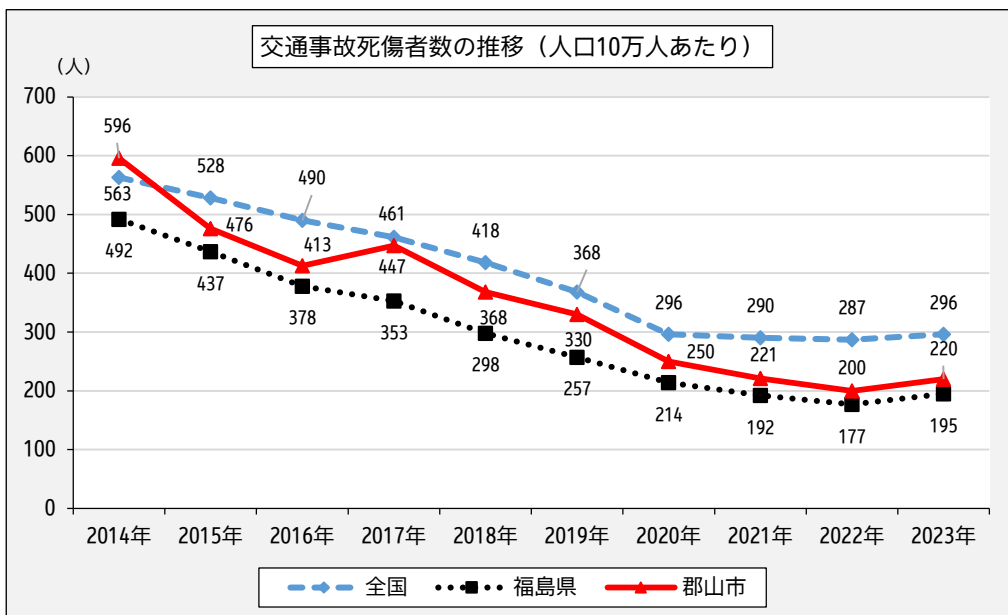
全体的に減少していたが、2023年はわずかに増加した。  
郡山市は、2015年以降全国より下回っているが、県を上回った状態が続いている。



- (備考) 1 「警察白書」（警察庁）、「交通白書」（福島県警察本部）を加工して作成  
2 2023年の福島県、郡山市の死傷者数は福島県生活環境部生活交通課からの情報提供  
3 算出に用いた人口はP. 5の表1による

### (2) 交通事故による死傷者数推移（人口10万人あたり）

全体的に減少していたが、2023年はわずかに増加した。  
郡山市は、2015年以降全国より下回っているが、県を上回った状態が続いている。

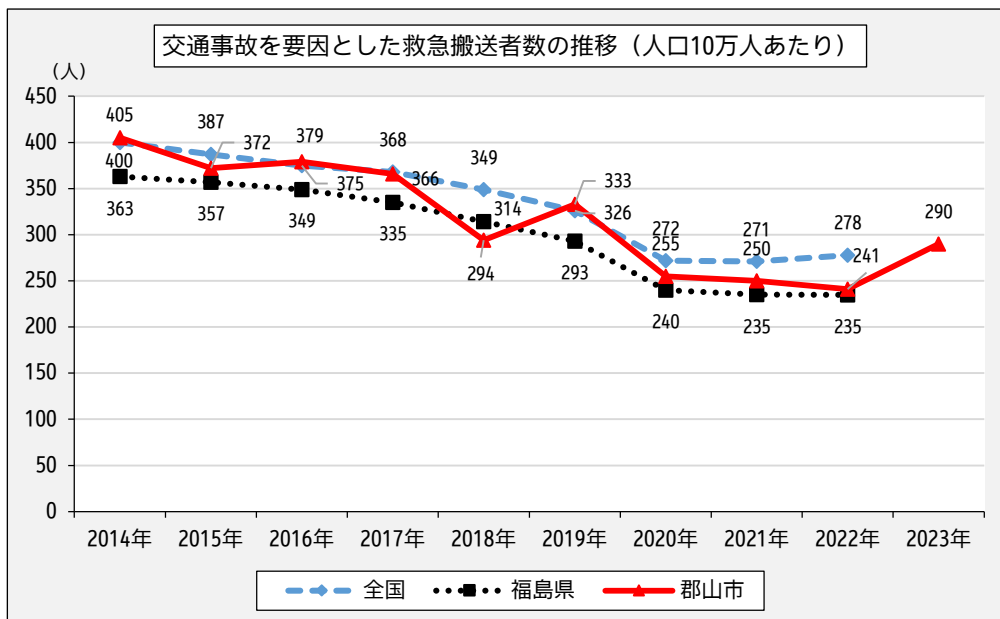


- (備考) 1 「警察白書」（警察庁）、「交通白書」（福島県警察本部）を加工して作成  
2 2023年の福島県、郡山市の死傷者数は福島県生活環境部生活交通課からの情報提供  
3 算出に用いた人口はP. 5の表1による

## 分野1 交通安全

### (3) 交通事故を要因とした救急搬送者数推移（人口10万人あたり）

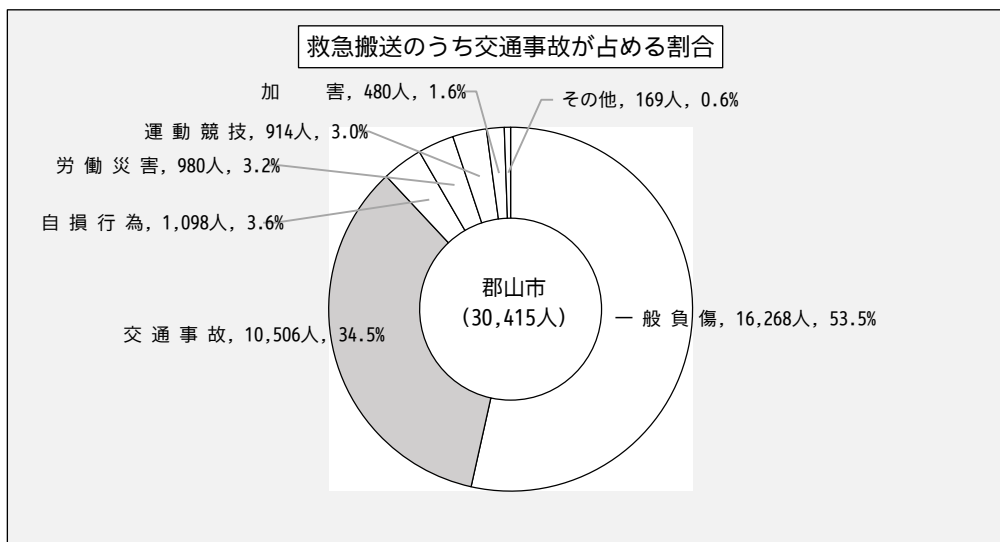
郡山市は2018年まで減少していたが、2019年は増加し、全国と県を上回った。2020年からは再び減少したが、2023年は増加となった。



(備考) 1 「消防白書」（総務省消防庁）、「救急搬送データ（国表）」（郡山地方広域消防組合）を加工して作成  
2 算出に用いた人口はP.5の表1による

### (4) 救急搬送要因のうち交通事故が占める割合（郡山市）（2014～2023年累計）

「交通事故」の34.5%は、「一般負傷」の53.5%に次ぐ割合を占めている。この2つで、病気以外の救急搬送のおよそ9割を占めている。

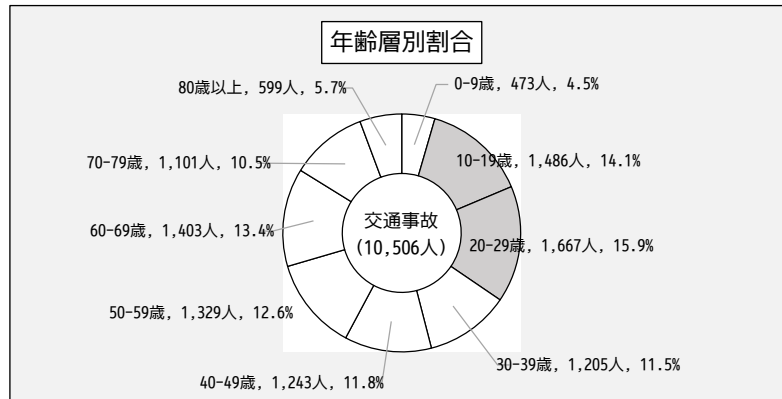


(備考) 「救急搬送データ（国表）」（郡山地方広域消防組合）を加工して作成

## 分野1 交通安全

### (5) 交通事故を要因とした救急搬送の年齢層別割合（郡山市）（2014～2023年累計）

下記表を見ると、「10-19歳」「20-29歳」が人口割合に比べ、交通事故を要因とした救急搬送率が高い。



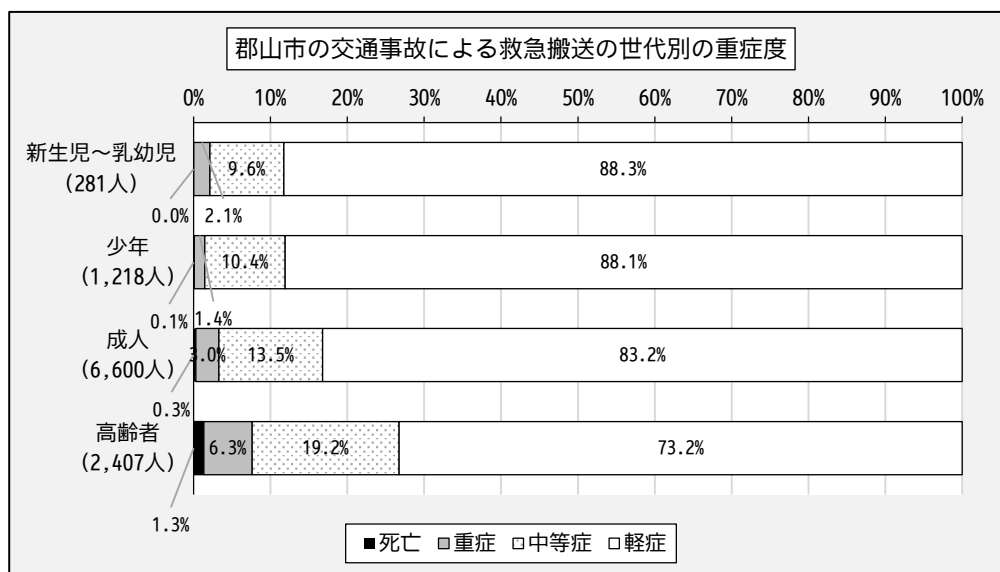
（備考） 「救急搬送データ（詳細版）」（郡山地方広域消防組合）を加工して作成

年齢層	2024年人口割合(%)…①	年齢層別救急搬送率(%)…②	①-②
0-9歳	7.5	4.5	3
10-19歳	8.9	14.1	-5.2
20-29歳	9.7	15.9	-6.2
30-39歳	11.4	11.5	-0.1
40-49歳	13.9	11.8	2.1
50-59歳	13.9	12.6	1.3
60-69歳	13.2	13.4	-0.2
70-79歳	12.5	10.5	2
80歳以上	8.8	5.7	3.1

（備考） 人口割合はP.3「住民基本台帳に基づく郡山市の地区別年齢別人口」（郡山市政策統計課）を加工して作成

### (6) 交通事故を要因とした救急搬送の年齢別重症度率（郡山市）（2014～2023年累計）

高齢者の重症度率は、「死亡」と「重症」を合わせると7.6%であり、成人の3.3%と比べると倍以上となっている。



（備考） 1 「救急搬送データ（国表）」（郡山地方広域消防組合）を加工して作成

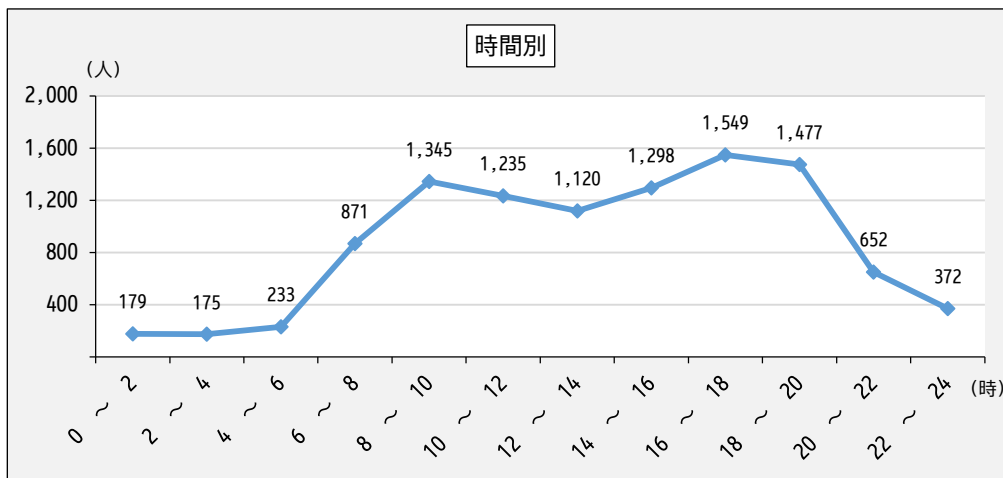
2 割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合がある

# 分野1 交通安全

## (7) 交通事故を要因とした時間・曜日・月別救急搬送者数(郡山市) (2014~2023年累計)

### ア 時間別

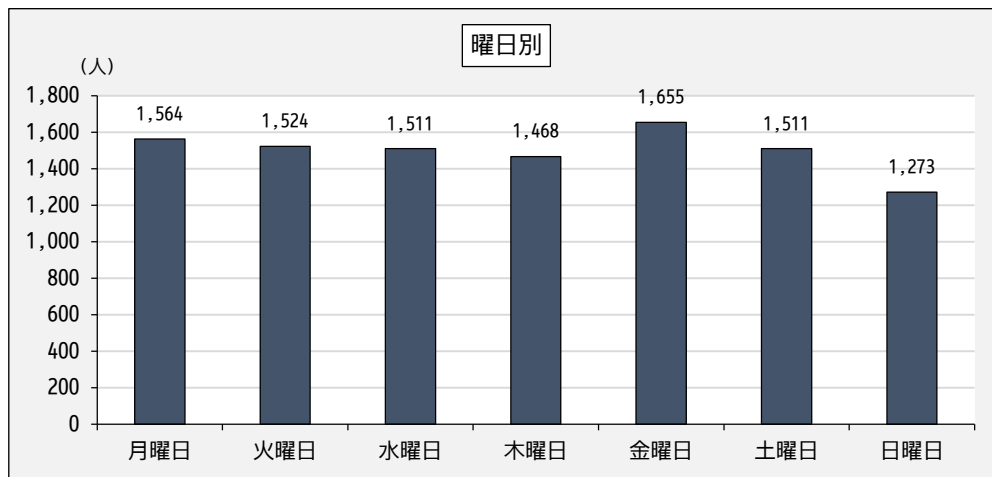
朝方(8~10時)と夕方(16~20時)の時間帯が多い。



(備考) 「救急搬送データ(国表)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

### イ 曜日別

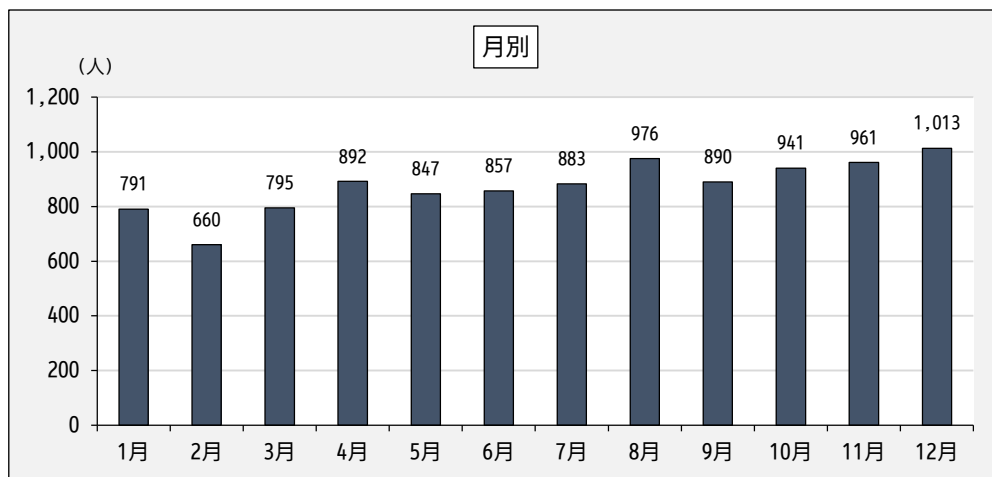
曜日別では、「金曜日」が1,655人で一番多く、「日曜日」が1,273人で一番少ない。



(備考) 「救急搬送データ(国表)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

### ウ 月別

月別では、「12月」が1,013人で一番多く、「2月」が660人で一番少ない。

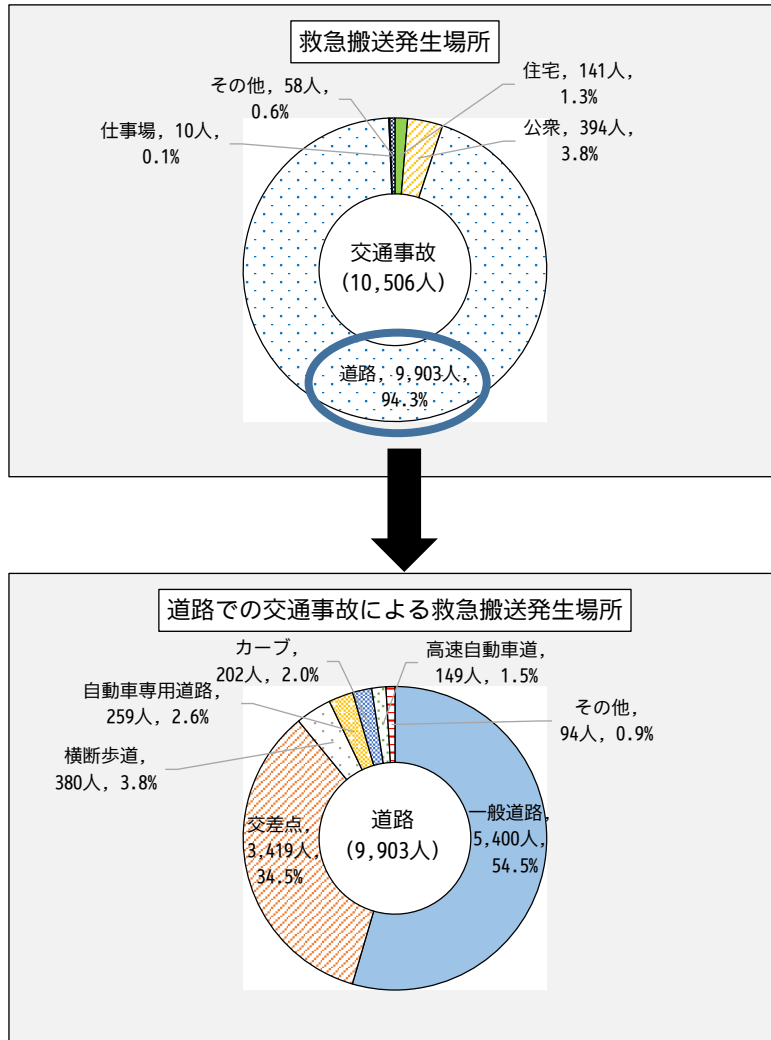


(備考) 「救急搬送データ(国表)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

## 分野1 交通安全

### (8) 交通事故を要因とした救急搬送発生場所（郡山市）（2014～2023年累計）

交通事故を要因として救急搬送発生場所は、「道路」が94.3%である。  
 「道路」の詳細を見ると「一般道路」が54.5%で一番多く、次いで「交差点」が34.5%、  
 「横断歩道」が3.8%である。



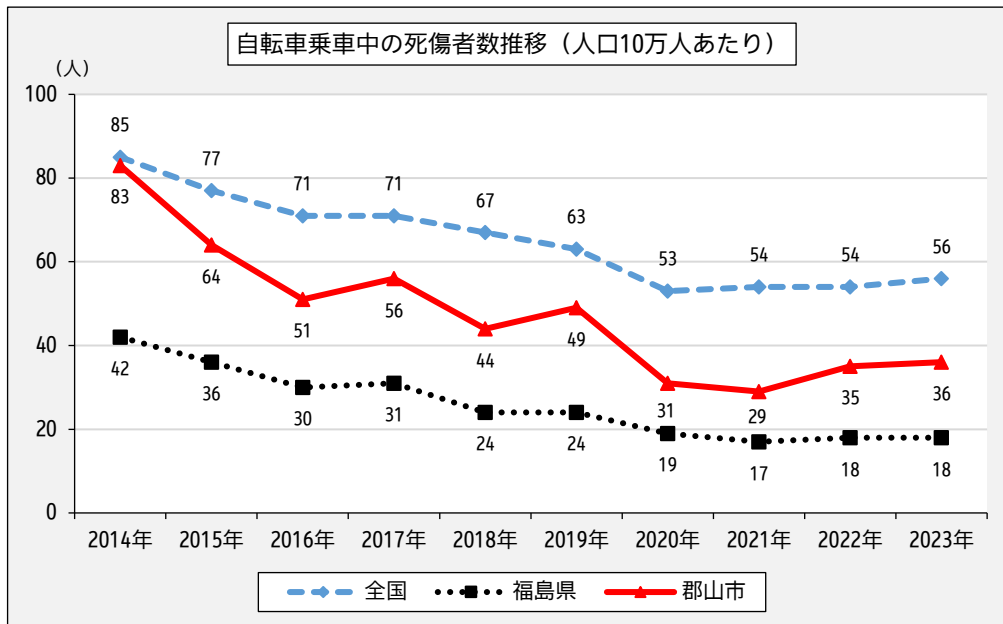
(備考) 1 「救急搬送データ（詳細版）」（郡山地方広域消防組合）を加工して作成

2 救急搬送発生場所は発生場所大分類名、道路での内訳は発生場所中分類名による（参考P.50）

## 分野1 交通安全

### (9) 自転車乗車中の死傷者数推移（人口10万人あたり）

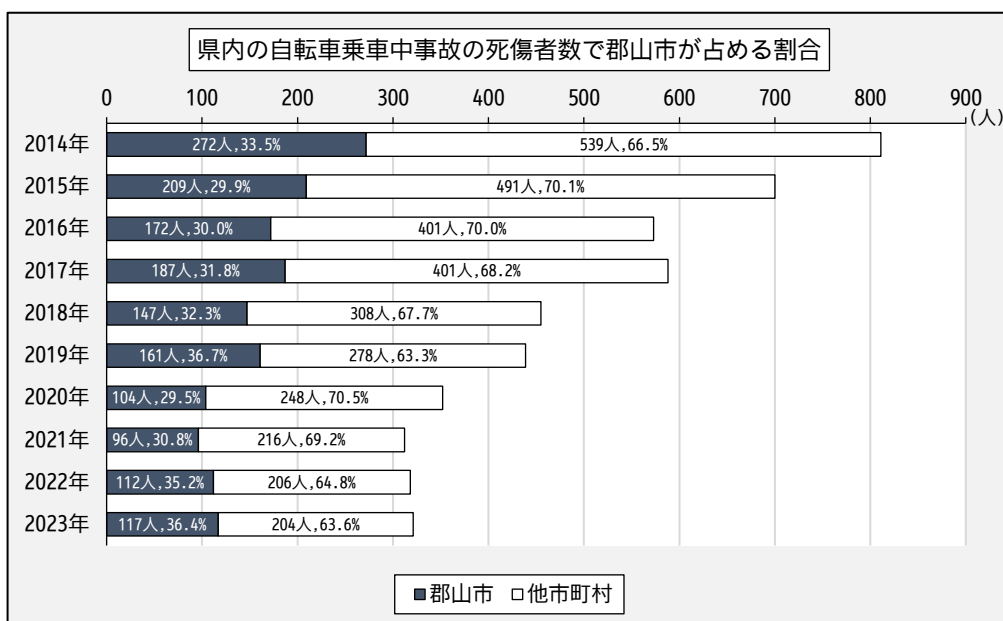
郡山市は、2021年まで減少していたが、2022年から増加した。  
全国を下回っているが、県を上回った状態が続いている。



(備考) 1 「警察白書」（警察庁）、「交通白書」（福島県警察本部）を加工して作成  
2 算出に用いた人口はP. 5の表1による

### (10) 県内の自転車乗車中事故の死傷者数で郡山市が占める割合

2023年の郡山の自転車乗車中事故の死傷者数は、県全体の36.4%を占めている。  
2023年4月1日時点の県内における福島県の現住人口は1,773,723人、郡山市の現住人口は322,515人であり、県内における郡山市の人口割合は18.2%である。  
なお、郡山市の自転車事故が多い理由として、高校生の近隣市町村からの通学が要因の一つと考えられる。



(備考) 1 「交通白書」（福島県警察本部）、郡山警察署からの情報提供により作成  
2 人口はP. 5の表1による